海上保安庁の GPS 地殻変動監視観測

Continuous GPS observations of Japan Coast Guard

海上保安庁 Japan Coast Guard

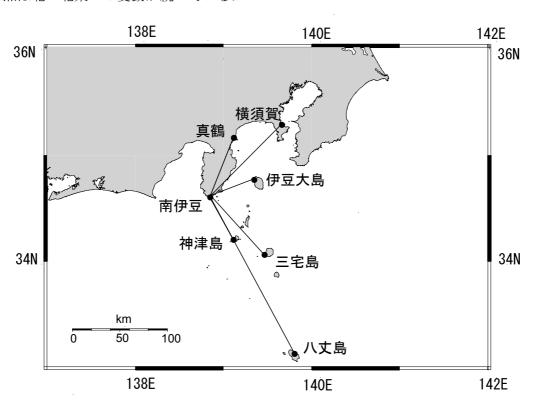
● 伊豆諸島海域における GPS を利用した地殻変動監視観測

海上保安庁では、伊豆大島、真鶴、横須賀験潮所、南伊豆験潮所、三宅島験潮所、神津島験潮所及び八丈島験潮所に設置している各 GPS 観測固定点のデータを解析して、地殻変動監視観測を行っている. 解析には精密基線解析ソフトウェア Bernese Ver. 4.2 を使用し、南伊豆を固定して南伊豆と各点との基線を解析した. 第1図に、測点及び基線を示す.

第2図~第4図は,精密暦 (IGS 暦)・速報暦 (COP 暦) 及び24時間データを用いて求めた,2005年1月1日~2008年1月31日の基線変化を示している.

南伊豆-伊豆大島基線において、北向きの速度が2007年4月頃から増加したが、2007年9月頃から減少し、2006年7月以前の傾向に戻っている.

その他の基線については、概ね2004年9月以降の傾向が続いており、南伊豆に対して、神津島は西へ、 その他の点は北〜北東への変動が続いている.



第1図 伊豆諸島海域の GPS 観測点配置図

Fig.1 Location of the GPS stations in the Izu islands.

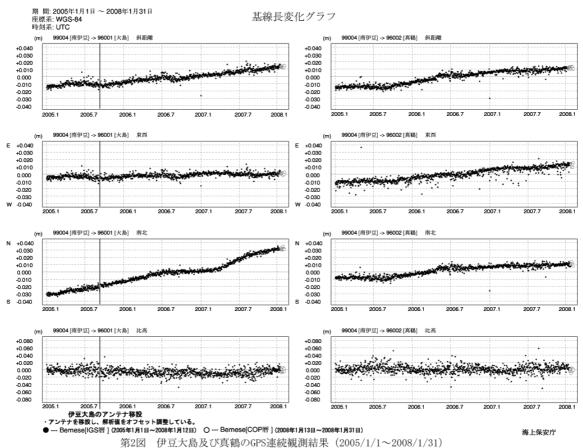


Fig. 2 Results of continuous GPS measurements in Izu O Shima and Manazuru. (January 1, 2005-January 31, 2008)

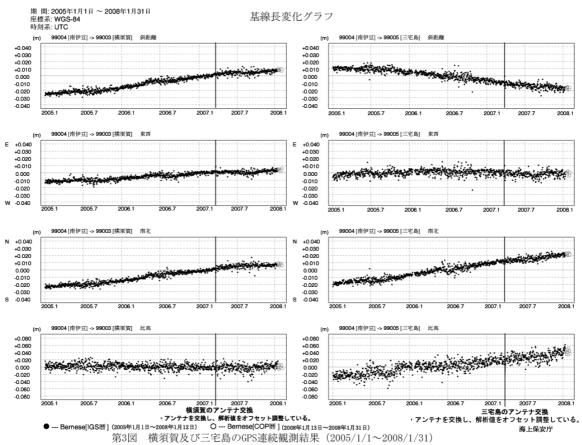


Fig. 3 Results of continuous GPS measurements in Yokosuka and Miyake Shima. (January 1,2005-January 31,2008)

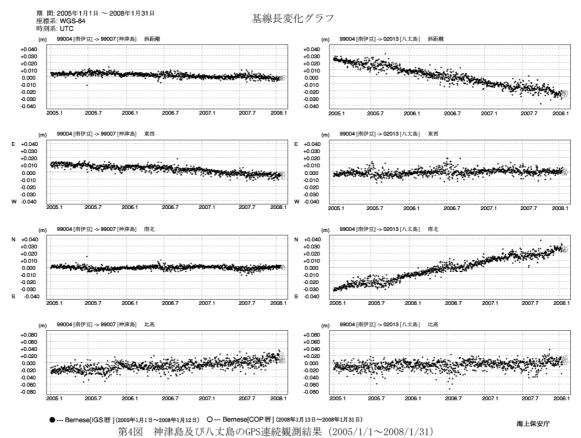


Fig. 4 Results of continuous GPS measurements in Kozu Shima and Hachijo Shima. (January 1,2005-January 31,2008)